



～須賀川市立第一小学校～

令和5年度

学校づくり推進ビジョン

今年度の取り組みと指標目標

本校の普適的教育概念

幼而学壮而行（幼にして学び壮にして行ふ） **交以道接以礼**（道をもって交わり、礼をもって接す） ※ 明治9年6月15日 木戸孝允公より黒磯評議
気概（僕らの未来は僕らが変えるんだ 希望へと突き進もう） ※ 大黒摩季・NAOTO提供 一小震災復興応援ソング「希望のた」より

教育目標

何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす

心の豊かな子ども -「交流」-

健康でたくましい子ども -「挑戦」-

意欲的に考える子ども -「自立」-

育てたい子どもの心…「桜水の心」

お 思いやりの心

う 美しい心

す 素直な心

い 一生懸命な心

交以道接以礼

（道を持って交わり、礼を持って接す）

私たちの誓い

第一小学校の職員であることへの誇りと自負、「一小PRIDE」を持って子どもを育てよう

＜引き受け、寄り添う（Care）＞

- ケアのかかわりができる教職員になろう。
- ・ 子どものすべてをまるごと引き受け、子どもや保護者に寄り添う

＜子どもと関わり、育てることを愉しむ（Enjoy）＞

- 子どもを育て、成長させることを愉しめる教職員になろう。

＜授業の質を追究し、挑戦する（Exploration Challenge）＞

- 授業の質を追究し、挑戦し続ける教職員になろう。
- ・ 一人残らずの子どもの学びを保障するために協同的な学びを全ての教科、全ての授業で挑戦し、夢中になって学ぶ子どもを育てる

＜働き方を問い直しよりよい働き方に変える（Change）＞

- 自分の働き方を問い直し、働き方を変えとともに常に誠実な勤務を心がける教職員になろう。



幼而学壮而行

（幼にして学び壮にして行ふ）

気概

（僕らの未来は僕らが変えるんだ 希望へと突き進もう）

心の豊かな子ども -交流-

「真・善・美」を求め、仲間と協力し合い、支えあって楽しく生活する子どもを育てる。

健康でたくましい子ども -挑戦-

進んで体を鍛え、安全に気を付け、物事に気概をもって立ち向かっていく子どもを育てる。

意欲的に考える子ども -自立-

学んだことを活用して、さらに新たな学びを創造していく子どもを育てる。

1 一人ひとりが生きる学級経営

- ・ QUテストの実施と分析、いじめのない居心地のよい学級づくり
- 1. 子どもが抱える困難や課題、悩み等に対応するための家庭との密な相互連絡体制の確立
- ・ 協力的な実践活動（係・当番、児童会活動、行事等での役割等）の実施

指標	・ ふくしま学力状況調査 「学校が楽しい」と答える子ども 95% ・ いじめ見逃し「0」
----	---

2 「桜水の心」が備わった児童の育成

- ・ 道徳授業の充実
- ・ 「命の大切さを考える日」の設定と道徳の授業実践

指標	・ ふくしま学力状況調査 「相手の気持ちを考えやさしい言葉遣いができる」と答える子ども 90% ・ ふくしま学力状況調査 「難しいことでも失敗をおそれず挑戦している」と答える子ども 90%
----	---

3 基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成

- ・ 集団生活でのきまりの遵守のための指導の徹底
- ・ あいさつや返事の指導

指標	・ ふくしま学力状況調査 「はつきりあいさつができた」と答える子ども 90%
----	--



1 体力・運動能力の向上

- ・ 体育の授業での児童一人ひとりの運動従事時間20分以上の確保
- ・ 季節や時期にあった運動機会の確保
- ・ 休み時間等での体を動かし自由に遊ぶ機会の確保

指標	・ 全国運動能力、運動習慣等調査「運動が大好き」という子ども 80% ・ 全国運動能力、運動習慣等調査 男女とも体力合計点県平均以上
----	---

2 健康・安全な生活環境づくり

- ・ 集団登校、集団的下校の実施。地域と連携した見守り体制の維持継続
- ・ 発達段階に応じた危険予知能力、危険回避能力獲得のための繰り返しの指導
- ・ 事故未然防止のための学校施設、通学路等の定期点検の実施
- ・ 感染症等の感染防止、感染拡大防止のための発達段階に応じた自己健康管理能力の育成のための繰り返しの指導

指標	・ 交通事故「0」 ・ けがによる保健室の利用件数 前年度より低下
----	--

3 食育の充実

- ・ バランスの良いメニューによる給食の提供
- ・ 食育と体育、健康教育にかかる授業の効果的な実施

指標	・ 肥満傾向児童の出現率、前年度より低下
----	--

1 夢中になって学ぶ子どもの育成

- ・ 全ての教科、全ての授業で協同的な学びの見て取れる授業への挑戦
- ・ 発展問題の提示と探究的な学習の日常化
- ・ 学び合う場と時間の確保と聞き合うかかわりを大切に授業の展開
- ・ 「学び方（聴く、聴き合う、テキストの活用の仕方等）」を身に付けるための指導の徹底
- ・ ICT機器の効果的な活用を通じた授業イノベーションへの挑戦
- ・ 地域人材やゲストティーチャー、施設等を活用した効果的な体験学習の実施

指標	・ ふくしま学力状況調査 学習が「分かった」「楽しい」という子ども 80% ・ ふくしま学力状況調査 学力指標前年度より向上
----	---

2 家庭学習の習慣化

- ・ 学年の発達段階に応じた家庭学習（学年×10+10分間）の励行と継続実施

指標	・ ふくしま学力状況調査 学校の宿題を「している」「どちらかといえばしている」という子ども 90%
----	---

